

## 平成25年中の水難発生状況

平成25年中の水難は26件発生し、17人の方が亡くなりました。

特徴として、

- ・ 水難事故は、主に海釣り、漁の機会に発生している  
水難者の約6割（27人中16人 59.2%）  
死者の約7割（17人中12人 70.6%）
- ・ 水難事故は、季節を問わず、ほぼ年間を通じて発生している（発生のない月は、1月、2月、10月）
- ・ 水難者の約7割が40歳以上の中高年者（27人中19人 70.3%）  
などが挙げられます。

### 〈 発生概要 〉

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		26	31	- 5
水難者数 (人)	死 者	17	21	- 4
	行方不明者	0	0	± 0
	負 傷 者	5	3	+ 2
	無 事 救 出	5	8	- 3
	合 計	27	32	- 5

### 〈 平成25年の状況 〉

#### ● 場所別発生状況

( )は24年中

場 所	件 数	人 員				
			死 者	行方不明者	負傷者	救 助
川	6 (5)	6 (5)	4 (5)			2
海	20 (24)	21 (25)	13 (15)		5 (2)	3 (8)
池	(2)	(2)	(1)		(1)	
計	26 (31)	27 (32)	17 (21)		5 (3)	5 (8)

#### ● 行為別人員

( )は24年中

場 所	行 為 種 別					計
	水 泳	水遊び	ボート遊び	釣り・魚取り等	その他	
川	1 (2)	1		(1)	4 (2)	6 (5)
海	3 (3)	(2)	(1)	16 (13)	2 (6)	21 (25)
池					(2)	(2)
計	4 (5)	1 (2)	(1)	16 (14)	6 (10)	27 (32)

● 年齢別遭難者数

( )は24年

項目 年齢	人 員		前年比	り 災 別 人 員			
	25年	24年		死者	行方不明	負傷	救助
0～9	1	1	± 0	1			(1)
10～19	3	6	- 3	(3)		2	1 (3)
20～29	1	3	- 2	(1)		1	(2)
30～39	3	3	± 0	1 (1)		(2)	2
40～49	4	0	+ 4	2		1	1
50～59	5	0	+ 5	4		1	
60～69	4	8	- 4	4 (7)			(1)
70～79	5	4	+ 1	4 (3)			1 (1)
80～	1	7	- 6	1 (6)		(1)	
計	27人	32人	- 5	17 (21)		5 (3)	5 (8)

● 月別発生状況

( )は24年中

項目 月	件 数	水 難 者 数				
		死 亡	行方不明	負 傷	救 助	
1	(2)	(2)	(1)		(1)	
2	(1)	(1)	(1)			
3	4 (6)	4 (7)	3 (2)		(1)	1 (4)
4	5 (2)	5 (2)	5 (2)			
5	3 (1)	3 (1)	2		1 (1)	
6	2 (2)	2 (2)	(2)		1	1
7	1 (2)	1 (2)	1 (2)			
8	7 (7)	8 (7)	2 (4)		3	3 (3)
9	2 (4)	2 (4)	2 (4)			
10						
11	1 (2)	1 (2)	1 (1)			(1)
12	1 (2)	1 (2)	1 (2)			
計	26 (31)	27 (32)	17 (21)		5 (3)	5 (8)

〈 水難防止のお願い 〉

保護者等のみなさんへ

- ・ 子ども達だけでの水遊びはさせず、絶対に目を離さないでください。
- ・ 日ごろから危険な場所には近づかないよう言い聞かせましょう。
- ・ 危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら注意してあげましょう。

海や河川へ出かけるみなさんへ

- ・ 飲酒後や体調の悪いときは、絶対に泳がないでください。
- ・ 天候には十分注意してください。

- マリンスポーツや磯釣りなどをする場合は、ライフジャケット（救命胴衣）着用に心がけてください。



〈 三重県警察警備艇 かすみ 〉

## 平成25年中の山岳遭難発生状況

平成25年中の山岳遭難は51件発生し、86人の方が遭難しました。

特徴として

- ・ 6月までの発生件数は前年同期と同数であったが、その後は減少した
- ・ 多人数グループの遭難事案が増加している
- ・ 51件中30件が鈴鹿山系で発生（58.8%）している
- ・ 遭難者86人中45人が40歳代以上の中高年者（52.3%）である  
などが挙げられます。

### 〈 県全体発生状況 〉

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		51	66	- 15
遭難者数 (人)	死 者	3	8	- 5
	行方不明者	2	0	+ 2
	負 傷 者	21	27	- 6
	無事救出	60	54	+ 6
	合 計	86	89	- 3

### 〈 鈴鹿山系発生状況 〉

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		30	38	- 8
遭難者数 (人)	死 者	2	4	- 2
	行方不明者	1	0	+ 1
	負 傷 者	14	17	- 3
	無事救出	32	24	+ 8
	合 計	49	45	+ 4

### ※ うち御在所岳発生状況

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		14	14	± 0
遭難者数 (人)	死 者	1	2	- 1
	行方不明者	0	0	± 0
	負 傷 者	8	6	+ 2
	無事救出	13	9	+ 4
	合 計	22	17	+ 5

〈 台高山系等発生状況 〉

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		14	10	+ 4
遭難者数 (人)	死 者	1	1	± 0
	行方不明者	1	0	+ 1
	負 傷 者	4	5	- 1
	無事救出	16	4	+ 12
	合 計	22	10	+ 12

〈 その他山系（山城）発生状況 〉

区 分		平成25年	平成24年	増 減
発 生 件 数		7	18	- 11
遭難者数 (人)	死 者	0	3	- 3
	行方不明者	0	0	± 0
	負 傷 者	3	5	- 2
	無事救出	12	26	- 14
	合 計	15	34	- 19

〈 態様別発生件数 〉

態様 年	道迷	滑落	転倒	転落	疲労	病気	落石	その他	計
	25年	58	14	7	2	0	1	0	4
24年	46	26	4	3	3	2	1	4	89
前年比	+ 12	- 12	+ 3	- 1	- 3	- 1	- 1	± 0	- 3

〈 年齢別遭難者数 〉

( )は24年

項目 年齢	人 員		前年比	り 災 別 人 員				
	25年	24年		死者	行方不明者	重傷	軽傷	救助
0～9	3	4	- 1				(1)	3(3)
10～19	13	0	+ 13					13
20～29	16	11	+ 5			(3)	4	12(8)
30～39	9	12	- 3			(3)	1 (1)	8(8)
40～49	9	10	- 1	(2)		1 (3)	2	6(5)
50～59	14	20	- 6	2 (2)		2 (2)	3	7(16)
60～69	19	21	- 2	1 (2)	2	2 (5)	5 (2)	9(12)
70～79	3	9	- 6	(1)		(5)	1 (1)	2(2)
80～	0	2	- 2	(1)			(1)	
計	86人	89人	- 3	3 (8)	2	5(21)	16(6)	60(54)

〈 月別発生状況 〉

※ ( )内は24年

項目 月	件数	遭難者数				
		死亡	行方不明	負傷	救助	
1	(5)	(6)			(2)	(4)
2	1 (4)	1 (4)	(2)		1	(2)
3	4 (3)	7 (3)			2 (2)	5 (1)
4	5 (4)	9 (6)		1	1 (1)	7 (5)
5	8 (5)	11 (6)	2 (2)		5 (3)	4 (1)
6	6 (3)	7 (3)	(2)		4	3 (1)
7	1 (9)	1 (9)			1 (4)	(5)
8	6 (6)	17 (6)			2 (5)	15 (1)
9	5 (6)	5 (7)			2 (4)	3 (3)
10	8 (11)	15 (14)	(2)	1	3 (4)	11 (8)
11	3 (6)	6 (11)	1		(2)	5 (9)
12	4 (4)	7 (14)				7 (14)
計	51 (66)	86 (89)	3 (8)	2	21 (27)	60 (54)

〈 山岳遭難防止のお願い 〉

- ・ 自分の体力や経験に応じた山やコースを選びましょう。
- ・ 登山計画を家族に知らせるとともに、所属山岳会や警察署等へ提出しましょう。
- ・ 単独登山はなるべく避け、グループ登山に心掛けましょう。
- ・ 体調が悪いときや危険を感じたら、無理をせず引き返しましょう。
- ・ 山の天候は変わりやすいので、気象情報に注意しましょう。
- ・ 万一来に備え、雨衣や非常食等を携行しましょう。
- ・ 通信手段として充電の完了した携帯電話等を携行しましょう。(携帯電話は通話できない場所があることに注意)

〈 鈴鹿山系を登山される皆さんへ 〉

御在所岳を初めとする鈴鹿山系では年々遭難が増加しており、最近の傾向として登山経験の少ない登山者の遭難が目立ってきています。

鈴鹿山系の山々はハイキング気分で登れる山ではありません。特に御在所岳はロープウェイを活用し簡単に登れそうに見えますが、登山道は何れも険しく、体力も必要とします。ご自身の体力、技術にあった山を選び、しっかりした登山装備を準備し、なるべく単独登山を避け、グループでの登山に心掛けて頂きたいと思います。



〈 山岳救助隊による訓練状況 〉